

別紙2 令和7年度地域間幹線系統における生産性向上の取組（案）

1 白石遠刈田線（白石蔵王駅～永野～メルキュール宮城蔵王）

a.取組内容	①高校新生に対するバス通学の周知
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、蔵王高校、白石高校、白石工業高校、白石市、蔵王町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年3月 新生説明会に合わせ、路線図、時刻表等の情報を配布
e.実施時期	令和7年3月～

a.取組内容	②JR、住民バス等とのダイヤ調整、広報
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、JR東日本㈱、白石市、蔵王町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中 ダイヤ改正、自治体広報への記事掲載、駅舎内に時刻表掲示
e.実施時期	令和7年度中

a.取組内容	③運行便数・時刻の適正化
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、白石市、蔵王町
c.定量的な効果目標	上記取組により、年間1%の経費減を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中 詳細の検討
e.実施時期	令和7年度中

a.取組内容	④運転免許自主返納者に対する割引の検討
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、白石市、蔵王町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中 割引内容、実施可否の検討
e.実施時期	令和7年度中

f.系統の見直しを実施せず、引き続き、幹線系統として運行する理由	当系統は、当県県南地域の交通の玄関口である、JR東北新幹線の白石蔵王駅と、当県を代表する観光地である宮城蔵王の麓に位置し、主要な温泉宿泊地の一つである遠刈田温泉を結ぶ、2市町にまたがる約24キロの路線である。沿線には主要な県立高校が2つあり、JR東北本線・白石駅を利用する遠距離通学者も含め、高校生の足として定着している。また、観光路線としての側面も非常に強く、東北新幹線を利用した県外の旅行者が、温泉入浴や宿泊、自然散策等を目的として幅広く利用すること。また、鉄道や他交通が存在しないバスのみ地域となっていることから、ある程度の便数を確保する必要があり、引き続き幹線系統として運行するものである。
----------------------------------	---



上記の取組により、令和7年度事業年度の実績収支率を前年度より1ポイント改善させる
 (参考) 令和5年度実績 38.1%

- 2 川崎線〔川崎系統〕（大河原駅前～村田営業所～川崎）
 3 川崎線〔村田系統〕（大河原駅前～沼辺～村田営業所）

a.取組内容	①高校新入生に対するバス通学の周知
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、村田高校、大河原産業高校、大河原町、村田町、川崎町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年3月 新入生説明会に合わせ、路線図、時刻表等の情報を配布
e.実施時期	令和7年3月～

a.取組内容	②J R、住民バス等とのダイヤ調整、広報
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、J R東日本㈱、大河原町、村田町、川崎町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中 ダイヤ改正、自治体広報への記事掲載、駅舎内に時刻表掲示 ※ダイヤ改正は必要に応じて実施
e.実施時期	令和7年度中

a.取組内容	③利用状況の分析
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、大河原町、村田町、川崎町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中 利用状況を踏まえ実施するのが効果的な施策等を検討
e.実施時期	令和7年度中

a.取組内容	④運転免許自主返納者に対する割引の検討
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、大河原町、村田町、川崎町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中 割引内容、実施可否の検討
e.実施時期	令和7年度中

f.系統の見直しを実施せず、引き続き、幹線系統として運行する理由	当系統は、交通の結節点である、J R東北本線大河原駅を起終点とし、幹線道路である県道14号線沿いに、南北25キロにわたり3町にまたがる路線である。沿線には県立高校が3つあり、主としてJ R東北本線を利用する遠距離通学の高校生の足として定着している。さらに、沿線には、この地域の中核的な三次医療機関である、みやぎ県南中核病院があり、県内でも高齢化率の高い県南地域においては、通院の足としても重要な系統であることから、引き続き幹線系統として運行するものである。
----------------------------------	--

上記の取組により、令和7年度事業年度の実績収支率をそれぞれ前年度より1ポイント改善させる

川崎線〔川崎系統〕 (参考) 令和5年度実績 39.2%
 川崎線〔村田系統〕 (参考) 令和5年度実績 76.9%

4 利府線（塩釜営業所～利府高校前～しらかし台）

a.取組内容	①高校新入生に対するバス通学の周知
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、利府高校、利府町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年3月 新入生説明会に合わせ、路線図、時刻表等の情報を配布
e.実施時期	令和7年3月～

a.取組内容	②JR、住民バス等とのダイヤ調整、広報
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、JR東日本㈱、塩竈市、利府町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中 ダイヤ改正、自治体広報への記事掲載、駅舎内に時刻表掲示 ※ダイヤ改正は必要に応じて実施
e.実施時期	令和7年度中

a.取組内容	③利用状況の分析
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、塩竈市、利府町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中 利用状況を踏まえ実施するのが効果的な施策等を検討
e.実施時期	令和7年度中

a.取組内容	④運転免許自主返納者に対する割引の検討
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、塩竈市、利府町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中 割引内容、実施可否の検討
e.実施時期	令和7年度中

f.系統の見直しを実施せず、引き続き、幹線系統として運行する理由	当系統は、利府町と塩竈市を結ぶ唯一の路線であり、また、JR 仙石線、東北本線、利府線を繋げる重要な役割を果たしている。 利府町内には、利府高校と工業団地が存在し、路線バスは通勤通学に欠かせないものとなっており、路線バス以外の代替交通手段は存在していない。 このような現状を踏まえ、引き続き幹線系統として運行する必要がある。
----------------------------------	---



上記の取組により、令和7年度事業年度の実績収支率を前年度より1ポイント改善させる
(参考) 令和5年度実績 68.1%

5 ゴルフ場線（マリンゲート塩釜～ゴルフ場～千賀の台西）

a.取組内容	①JR、住民バス等とのダイヤ調整、広報
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、JR東日本㈱、塩竈市、利府町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中 ダイヤ改正、自治体広報への記事掲載、駅舎内に時刻表掲示 ※ダイヤ改正は必要に応じて実施
e.実施時期	令和7年度中

a.取組内容	②沿線イベント時のバス利用呼びかけ
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、塩竈市、利府町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中（随時） 塩釜体育館等でのイベントに合わせ、情報誌等で当該系統の利用を周知
e.実施時期	令和7年度中

a.取組内容	③運転免許自主返納者に対する割引の検討
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、塩竈市
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中 割引内容、実施可否の検討
e.実施時期	令和7年度中

f.系統の見直しを実施せず、引き続き、幹線系統として運行する理由	当系統は、塩竈市内の北部地域の住宅地を縦貫する幹線系統であり、北部地域から市内中心部への住民の足として重要な役割を果たしている。 このような現状を踏まえ、引き続き幹線系統として運行する必要がある。
----------------------------------	---



上記の取組により、令和7年度事業年度の実績収支率を前年度より1ポイント改善させる
(参考) 令和5年度実績 57.5%

6 汐見台団地（多賀城駅前～大代～菖蒲田）

a.取組内容	①JR、住民バス等とのダイヤ調整、広報
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、JR東日本㈱、多賀城市、七ヶ浜町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中 ダイヤ改正、自治体広報への記事掲載、駅舎内に時刻表掲示 ※ダイヤ改正は必要に応じて実施
e.実施時期	令和7年度中

a.取組内容	②沿線イベント時のバス利用呼びかけ
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、多賀城市、七ヶ浜町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中（随時） 大代海浜公園等でのイベントに合わせ、情報誌等で当該系統の利用を周知
e.実施時期	令和7年度中

a.取組内容	③運転免許自主返納者に対する割引の検討
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、多賀城市、七ヶ浜町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中 割引内容、実施可否の検討
e.実施時期	令和7年度中

f.系統の見直しを実施せず、引き続き、幹線系統として運行する理由	当系統は、JR仙石線多賀城駅から七ヶ浜町内の住宅地を繋ぐ幹線系統であり、多賀城市内や七ヶ浜町内から仙台中心部への通勤・通学の足として重要な役割を果たしている。 このような現状を踏まえ、引き続き幹線系統として運行する必要がある。
----------------------------------	--



上記の取組により、令和7年度事業年度の実績収支率を前年度より1ポイント改善させる
(参考) 令和5年度実績 68.3%

7 吉岡線（泉中央駅～あけの平～道下）

a.取組内容	①高校新入生に対するバス通学の周知
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、黒川高校、富谷市、大和町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年3月 新入生説明会に合わせ、路線図、時刻表等の情報を配布
e.実施時期	令和7年3月～

a.取組内容	②通学フリーパスの実施
b.実施主体	宮城交通㈱、㈱ミヤコーバス、仙台市
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年10月から実施予定
e.実施時期	令和7年10月

a.取組内容	③運転免許自主返納者に対する割引の検討
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、富谷市、大和町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中 割引内容、実施可否の検討
e.実施時期	令和7年度中

f.系統の見直しを実施せず、引き続き、幹線系統として運行する理由	当系統は、仙台市地下鉄泉中央駅から、黒川郡を南北に縦貫する幹線系統であり、近年住民が増加している黒川地域から仙台中心部への通勤・通学の足として重要な役割を果たしている。 このような現状を踏まえ、引き続き幹線系統として運行する必要がある。
----------------------------------	---



上記の取組により、令和7年度事業年度の実績収支率を前年度より1ポイント改善させる
(参考) 令和5年度実績 78.8%

8 色麻線（古川駅前～塚の目～色麻町役場前）

a.取組内容	①高校新生に対するバス通学の周知
b.実施主体	株ミヤコーバス、古川黎明中学・高校、古川高校、中新田高校、大崎市、加美町、色麻町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年3月 新生説明会に合わせ、路線図、時刻表等の情報を配布
e.実施時期	令和7年3月～

a.取組内容	②沿線イベント時のバス利用呼びかけ
b.実施主体	株ミヤコーバス、大崎市、加美町、色麻町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中（随時） イベントに合わせ、情報誌等で当該系統の利用を周知
e.実施時期	令和7年度中（随時）

a.取組内容	③運転免許自主返納者に対する割引の検討
b.実施主体	株ミヤコーバス、大崎市、加美町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中 割引内容、実施可否の検討
e.実施時期	令和7年度中

f.系統の見直しを実施せず、引き続き、幹線系統として運行する理由	当系統は、当県県北地域の交通の玄関口であり、結節点である、JR東北新幹線、陸羽東線古川駅を主な起終点とし、幹線道路である国道347号線沿いに、東西15キロにわたり3市町にまたがる路線である。沿線には複数の高校や中高一貫校があり、主としてJR陸羽東線を利用する遠距離通学の中高生の足として定着している。さらに、沿線には、県北地域の中核的な三次医療機関である、大崎市民病院があり、県北地域一円からの通院の足としても重要な系統であることから、引き続き幹線系統として運行するものである。
----------------------------------	---



上記の取組により、令和7年度事業年度の実績収支率を前年度より1ポイント改善させる
 (参考) 令和5年度実績 43.6%

- 9 石巻免許センター線 (石巻駅前～石巻あゆみ野駅～日赤病院)
- 10 河南線 (石巻駅前～傘松～河南総合支所)
- 11 石巻専修大学線 (石巻駅前～開北橋～飯野川)
- 12 河北線 (石巻あゆみ野駅～鹿又駅～飯野川)
- 13 鮎川線 (石巻駅前～筒場～鮎川港)
- 14 蛇田線 (いしのまき元気いちば～蛇田～石巻あゆみ野駅南口)

a.取組内容	①大学・高校の登下校時間とのダイヤ調整検討
b.実施主体	株ミヤコーバス、石巻専修大学、石巻市内の沿線高校、石巻市、東松島市
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年3月 新入生説明会に合わせ、路線図、時刻表等の情報を配布
e.実施時期	令和2年12月～

a.取組内容	②沿線イベント時のバス利用呼びかけ
b.実施主体	株ミヤコーバス、石巻専修大学、石巻市内の沿線高校、石巻市、東松島市
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中(随時) イベントに合わせ、情報誌等で当該系統の利用を周知
e.実施時期	令和7年度中

a.取組内容	③運転免許自主返納者に対する割引の検討
b.実施主体	株ミヤコーバス、石巻市、東松島市
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中 割引内容、実施可否の検討
e.実施時期	令和7年度中

f.系統の見直しを実施せず、引き続き、幹線系統として運行する理由	これらは、石巻市の公共交通ネットワークにおいて、平成30年10月に再編が実施された系統であり、市が目指すまちづくりにとって重要な系統である。 面積の広い石巻市の各地区や隣接市町の復興団地から、市内中心部へのアクセス向上が図られているほか、当該エリアの主要駅である石巻駅、市街地、大型商業施設や道の駅、そして教育機関を結ぶ、沿線住民の生活に無くてはならない重要な系統であることから、引き続き幹線系統として運行するものである。
----------------------------------	--



上記の取組により、令和7年度事業年度の実績収支率を前年度より1ポイント改善させる		
石巻免許センター線	(参考) 令和5年度実績	31.5%
河南線	(参考) 令和5年度実績	25.7%
石巻専修大学線	(参考) 令和5年度実績	37.1%
河北線	(参考) 令和5年度実績	19.2%
鮎川線	(参考) 令和5年度実績	15.4%
蛇田線	(参考) 令和5年度実績	30.0%

15 女川線（石巻駅前～筒場～女川運動公園前）

a.取組内容	①沿線イベント時のバス利用呼びかけ
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、JR 東日本㈱、石巻市、女川町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中（随時） イベントに合わせ、情報誌等で当該系統の利用を周知
e.実施時期	令和7年度中

a.取組内容	②自治体との路線あり方協議
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、JR 東日本㈱、石巻市、女川町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中（随時） 利用状況を踏まえ、今後の路線のあり方等を検討
e.実施時期	令和7年度中

a.取組内容	③運転免許自主返納者に対する割引の検討
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、石巻市、女川町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中 割引内容、実施可否の検討
e.実施時期	令和7年度中

f.系統の見直しを実施せず、引き続き、幹線系統として運行する理由	<p>当系統は、女川町と石巻市を結ぶ唯一の路線である。</p> <p>女川町内には、日用品の買い物ができる店や病院が少ないため、町内と石巻市を結ぶ路線バスは住民の日常生活の中で欠かせないものとなっており、沿線の大型商業施設への買い物利用として多く活用されている。</p> <p>また、沿線には復興団地が位置し、住民の欠かせない足となっている。</p> <p>このような現状を踏まえ、引き続き幹線系統として運行する必要がある。</p>
----------------------------------	--



上記の取組により、令和7年度事業年度の実績収支率を前年度より1ポイント改善させる
 (参考) 令和5年度実績 38.8%

16 御崎線（御崎～津本～気仙沼市民病院）

a.取組内容	①沿線イベント時のバス利用呼びかけ
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、JR 東日本㈱、気仙沼市
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中（随時） イベントに合わせ、情報誌等で当該系統の利用を周知
e.実施時期	令和7年度中

a.取組内容	②自治体との路線あり方協議
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、JR 東日本㈱、気仙沼市
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中（随時） 利用状況を踏まえ、今後の路線のあり方等を検討
e.実施時期	令和7年度中

a.取組内容	③運転免許自主返納者に対する割引の検討
b.実施主体	㈱ミヤコーバス、気仙沼市
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中 割引内容、実施可否の検討
e.実施時期	令和7年度中

f.系統の見直しを実施せず、引き続き、幹線系統として運行する理由	当系統は、唐桑半島から気仙沼市内を結ぶ唯一の路線である。 唐桑半島から気仙沼市内を貫通し、通学や通院など多様な需要に応える幹線となっている現状を踏まえ、引き続き幹線系統として運行する必要がある。
----------------------------------	--



上記の取組により、令和7年度事業年度の実績収支率を前年度より1ポイント改善させる
(参考) 令和5年度実績 36.7%

17 秋保線（川崎）（仙台駅前～茂庭～川崎）

a.取組内容	①住民バス等とのダイヤ調整、広報
b.実施主体	宮城交通㈱、仙台市、川崎町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中（随時） ※ダイヤ改正は必要に応じて実施
e.実施時期	令和7年度中

a.取組内容	②沿線イベント時のバス利用呼びかけ
b.実施主体	宮城交通㈱、仙台市、川崎町
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年度中（随時） イベントに合わせ、情報誌等で当該系統の利用を周知
e.実施時期	令和7年度中

a.取組内容	③通学フリーパスの実施
b.実施主体	宮城交通㈱、(株)ミヤコーバス、仙台市
c.定量的な効果目標	上記取組により、輸送人員を年間1%増加させ、年間1%の収入増を図る。
d.実施に向けたスケジュール	・令和7年10月から実施予定
e.実施時期	令和7年10月

f.系統の見直しを実施せず、引き続き、幹線系統として運行する理由	当系統は、鉄道の存在しないバスだけの地域であり、仙台市への通勤、通学の足として欠かせない系統であることから、引き続き幹線系統として運行する必要がある。
----------------------------------	---



上記の取組により、令和7年度事業年度の実績収支率を前年度より1ポイント改善させる
 （参考）令和5年度実績 38.3%